

認可地縁団体 高尾台町会 平成25年度 定例総会議事録

日 時 : 平成25年3月17日 (日) 13:00～14:45
場 所 : 高尾台町会会館 1階ホール
町 会 員 数 : 1,790名
定 足 数 : 過半数895名
出 席 者 : 81名
委任状出席者 : 1,078名
有効表決権数 : 1,159名

議事の経過およびその内容

1. 開 会

委任状出席を含み町会員の過半数以上の出席者があり、会則第15条に基づき総会が正式に成立したとの報告のあと、司会総務・志鷹淳朗が開会を宣言した。

2. 町会長挨拶

町会長・荒木善彦が、挨拶を行った。

3. 議長及び議事録署名人の選出

司会総務・志鷹淳朗から、議長および議事録署名人の選出について諮ったところ、出席者より役員一任の声があり、議長には3丁目・永山順一氏、並びに議事録署名人には1丁目・城村勇二氏および2丁目・河原哲夫氏が推薦され承認された。

4. 議案審議

1)平成24年度各部会事業報告

総務委員、体育部、婦人部、除雪委員、防犯委員、公民館委員、美化委員、子ども会連合会、高樹会から平成24年度活動報告がなされ、関連質疑応答の後、拍手をもって承認された。

(質疑応答)

問) せっかくの防災訓練に19人しか参加していないのは少なすぎないか? もっと役員・班長も協力して、町会員の参加を増やし、有意義な訓練になるよう工夫してほしい。

答) 昨今の災害で危機意識は上がっているが、毎年、参加者が少ないのが現状です。町会としては平成24年度には第4防災倉庫の新設を行い、毎年防災備品の整備を行っていますが、町会員の意識高揚には繋がっていないようです。町会役員が中心となり防災訓練の参加者増加を図るべく広報活動に力を入れて努力したいと考えています。

2) 平成24年度事業計画

総務・小室功から、総会資料に基づき平成25年事業計画(案)について説明があり、関連質疑の後、拍手をもって承認可決された。

(質疑応答)

問1) 昨年引っ越してきたのを景気に盆踊り大会に参加したが、参加者も少なく盛り上がり欠けがっかりしました。もっとみなさんが楽しめるように工夫して開催して欲しい。

答) 盆踊り大会は、高尾・高尾台町会主催の大会と伏見台校下の大会がありますが、いずれも婦人部さんを中心に参加をお願いしているものの少ないのが現状です。町会は『町会員相互の親睦』を図るという目的を持って町会活動を行っていますので、盆踊り大会に関しても、多く方に参加して頂けるよう広報活動に力を入れて努力したいと考えています。

問2) スクールサポート隊は、伏見台小学校「育友会」の依頼により組織され町内において学童通学の安全を見守る活動をしている。現状は町会との関係は希薄であり、町会との結びつきがもっと必要ではないかと思う。町会内の組織として考えては貰えないか？

答) 町会としてスクールサポート隊のあり方を検討する必要があると考えます。防犯委員の協力組織に位置付ける等の対応を役員会で検討します。

問3) 拠点避難場所の高尾台中学校への避難訓練を行えないか？ 実際の施設を見ることで、災害時の対応もスムーズに行えるのではないか？

答) 大変良いアイデアだと思います。拠点避難場所である高尾台中学は、災害発生の際に円滑に利用できるよう町内のお住まいの市役所職員の方が鍵管理を行っています。訓練利用に関しては金沢市等の関連機関と協議して防災訓練の内容を決定する際、検討したいと思います。

3) 平成24年度決算報告 及び 4) 平成24年度監査報告

総会計・宮崎雅子から平成24年度決算が総会資料に基づき説明・報告された後、監査・福村正樹から平成24年度の会計について関係書類を照合し監査を行った結果、適正に処理されていた、との報告がされた。

関連質疑応答の後、3) 平成24年度決算報告は、拍手にて承認可決された。

(質疑応答)

問1) 新年会に100万円の予算を当て開催しているが、町会新年会としては華美ではないか。

町会費は近隣町会と比較して高いと聞いているので新年会を取り止め町会費を下げることを検討できないか。

答) 町会の『町会員相互の親睦』を図るという目的を果たす活動として新年会は開催されており平成25年新年会は129名の町会員が参加し盛会のうちに終了しました。ここ数年参加者は徐々に増加しており、町会としては現状の予算で150名の参加を目指しています。参加者には会費2千円を負担していただいていますので、新年会に対する町会の実質負担は予算額－会費－寄付金ということになりますが、実質の経費から勘案し内容が華美であるか、町会費

に対して高い負担となっているかどうかは今後の役員会等で討議し報告いたします。

問2) 会計報告が難しくて分かりにくい。金沢市からの要請でこの様な形式なのだとは思いますが、もっと理解し易い形に出来ないか？

答) 当町会は、金沢市の認可を得て認可地縁団体という法人組織となっています。認可地縁団体は、地方自治法により決算等の開示方法が定められており総会資料に掲載された形式となっています。定められた方法によりできる限り分かりやすく開示していますので、現状以上に簡略化することは町会員に対し理解を得ることができる開示に支障を来たす恐れがあると考えます。理解しにくい部分は担当役員が説明しますので申し出て下さい。

問3) 納税協力会から毎年10万円の寄付金が町会新年会出ている。納税協力会の予算には計上されているのに、一般会計の予算には計上されていない。整合性が取れないと思うので、合わせておいた方が良いのでは？

答) 納税協力会は当町会と協力関係にある組織なので、新年会に対する寄付金が事前に内定している場合は、予算に計上して整合性を取るようにします。

5) 平成25年度予算(案)の件

総会計・宮崎雅子より平成25年度予算(案)の説明があった。

<今年度新たに計上された事項>

防災関係費に関して、防災倉庫購入・400千円、投光器付発電機・170千円で予算計上。

①第1防災倉庫が老朽化により腐食等が進み買い替える必要があるため計上。

②投光器付発電機は、災害発生時停電状態になった場合町会会館で電気・電灯を確保する目的で前年度に購入予定だったが、前年度事業・第4防災倉庫新設に伴い関連費用が増加し予算を超過したため購入を一部控えたもので未購入分を改めて計上。

予算作成時に予見しがたい支出に備える予備費300千円、特別会計(除雪積立・町会会館修繕工事積立金)積立金額1,000千円を経費節減により堅持することが収入に見合った予算執行となり、次年度繰越金が今年度と同水準になることを第一に執行するものです。

関連質疑応答後、4)平成25年度予算(案)は拍手にて承認可決された。

(質疑応答)

問) 子連関係費が前年より削減となっているが、これから買い替えが必要な物が多数出る等で予算不足の恐れがあると考えられるが大丈夫か？

答) 予算作成時に予見できない支出の為に予備費を計上していますので、予算超過の際は役員会で協議し対応する事が可能です。

6) 平成25年度役員(案)の件

総務・志鷹淳朗より、役員名簿(案)に基づき、新役員32名、継続役員17名、総勢49名及び相談役6名が報告された。拍手をもって承認可決された。

5. 閉会

司会総務・志鷹淳朗が閉会を宣言した。

以上の決議を確認する為この議事録をつくり、これに記名押印する。

平成25年3月17日

認可地縁団体 高尾台町会 平成25年度定例総会